

流通BMSでは、検討開始時から税に関する 様々な可能性を考慮しています

➤ 税率の桁数

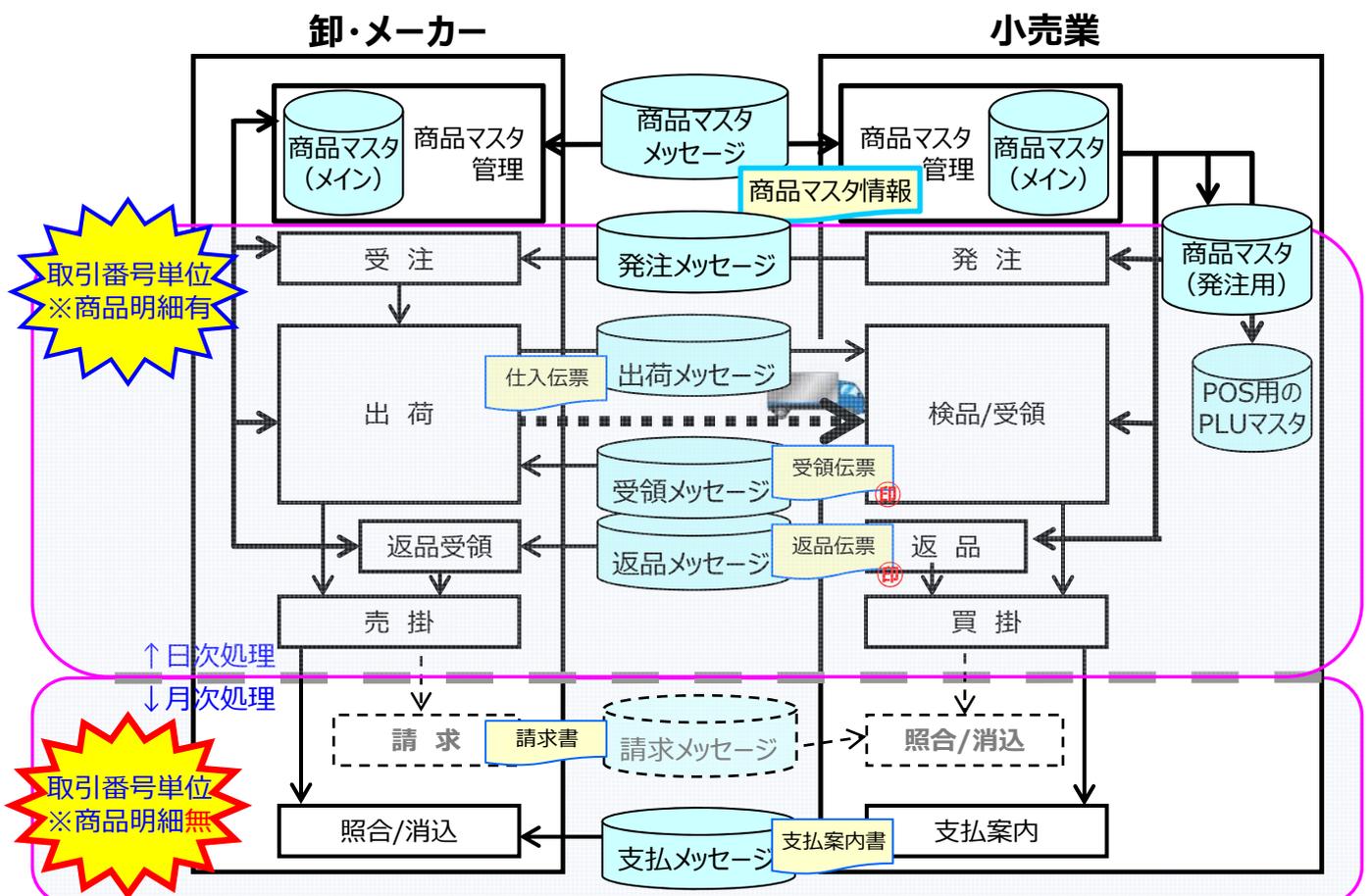
- ✓ 海外の状況も考えて、
・整数部2桁、小数点以下1桁
として税率のデータ項目定義を行った。

0.1%~99.9%まで

➤ 複数税率

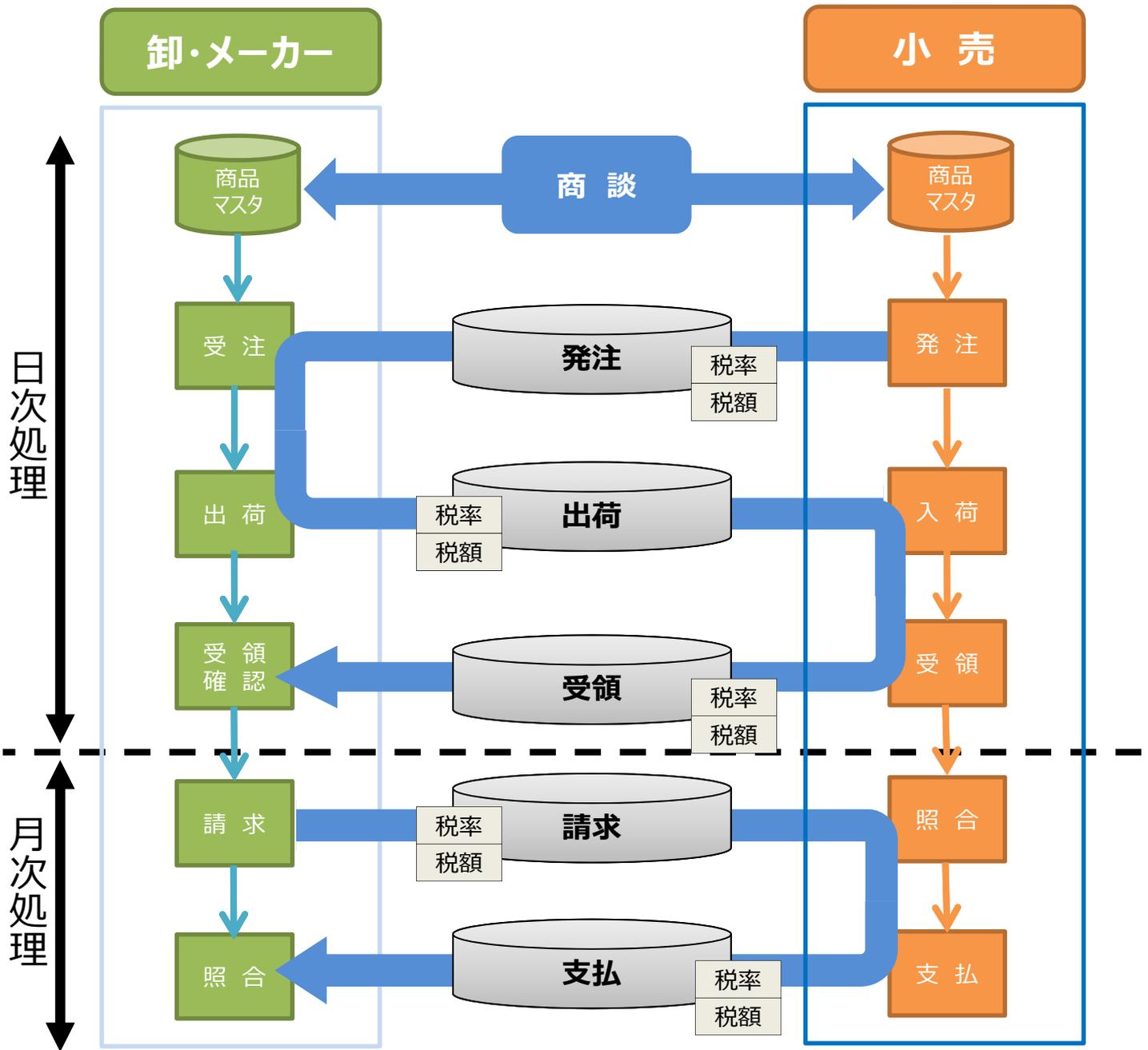
- ✓ 実際の運用(発注や請求明細単位)を考慮し、
メッセージ階層構造を意識した上で、
・税率と税額
のデータ項目を任意項目として定義した。

流通業界の基本的な処理（商談→受発注→決済）の流れ



一定期間（通常は1か月）の取引結果をまとめて決済することが多い。
この際の明細情報は取引番号や伝票番号といった単位とその合計金額。

流通BMSでは取引番号単位で
「税率」、「税額合計金額」
を各メッセージに用意しています



日々の取引で取引番号（伝票番号）の単位で税率を分けることで請求時に税率毎に合計するなどの対応が可能。

流通BMS協議会

(流通システム標準普及推進協議会)

〒107-0052

東京都港区赤坂7-3-37 プラス・カナダ3F

一般財団法人 流通システム開発センター内

TEL:(03)5414-8505

E-MAIL: ryutsu-bms@dsri.jp

http://www.dsri.jp/ryutsu-bms/

